

見積仕様書

1. 見積範囲の概要

本見積は利根川上流総合管理所（矢木沢ダム、奈良俣ダム、下久保ダム）のダム貯水池における魚類環境 DNA 調査に係る作業を対象とします。

なお、本見積には採水にかかる費用は含まないものとします。

2. 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和 8 年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」のうち（１）測量業務技術者及び（２）設計業務技術者によるものとします。

第 1 節 目的

利根川上流総合管理所（矢木沢ダム、奈良俣ダム、下久保ダム）のダム湖およびその上下流における魚類の生息状況を把握することを目的とする。

第 2 節 準拠基準

次の基準類によるものとする。

1. 河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル【共通版】（令和 8 年度版）（国土交通省 水管理・国土保全局河川環境課）
2. 河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル【ダム湖版】（魚類環境 DNA 調査編（案））（令和 8 年度版）（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課）
3. 河川水辺の国勢調査 入出力システム操作マニュアル【ダム湖版】（令和 8 年度版）

第 3 節 内容（魚類環境 DNA 調査）

3-1 現地調査計画の策定

各ダムの全体調査計画書及び「河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル」（以下「調査マニュアル」という。）に基づき、現地踏査し、具体の調査地点（採水地点）の設定を行い、調査計画を検討、策定する。

3-2 現地調査

現地調査計画に基づき、下記のとおり調査を実施する。

①調査地区

矢木沢ダム：群馬県利根郡みなかみ町藤原字矢木沢地内（別添図-1 参照）

奈良俣ダム：群馬県利根郡みなかみ町藤原字洗ノ沢地内（別添図-2 参照）

下久保ダム：埼玉県児玉郡神川町大字矢納地内（別添図-3 参照）

②調査時期

調査時期及び回数は、原則として全体調査計画に従って設定するものとし、当該ダムにおける確認魚類の繁殖が最も活発な時期である 10 月～11 月に 1 回／年とする。

3-3 分析

調査マニュアルに基づき、現地調査で得られた試料について、環境 DNA 分析を行う。（各ダムフィールドブランク 1 検体を含む）

矢木沢ダム：7 検体

奈良俣ダム：7 検体

下久保ダム：8 検体

3－4 調査結果とりまとめ

3－1 から 3－3 の結果より、現地調査様式の作成に必要な情報を取りまとめ、様式入力用シートに記入する。

なお、様式入力用シートは河川環境データベースから最新版をダウンロードする。

3－5 入出力システムデータ入力

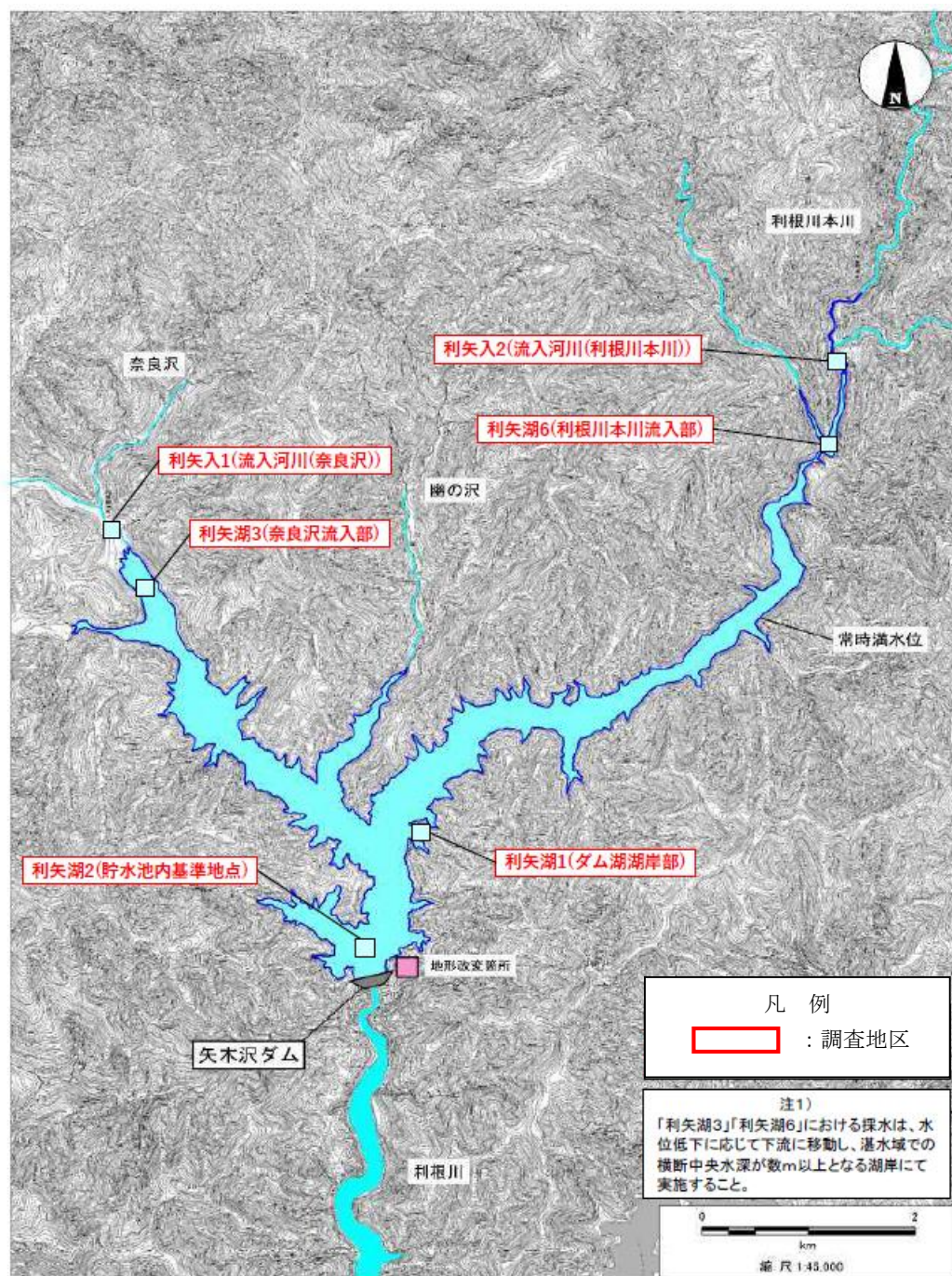
3－4 及び「河川水辺の国勢調査[ダム湖版]入出力システム 操作マニュアル」に基づき、「河川水辺の国勢調査[ダム湖版]入出力システム」への調査データの入力を行う。

3－6 報告書作成

業務の成果として、報告書を作成する。

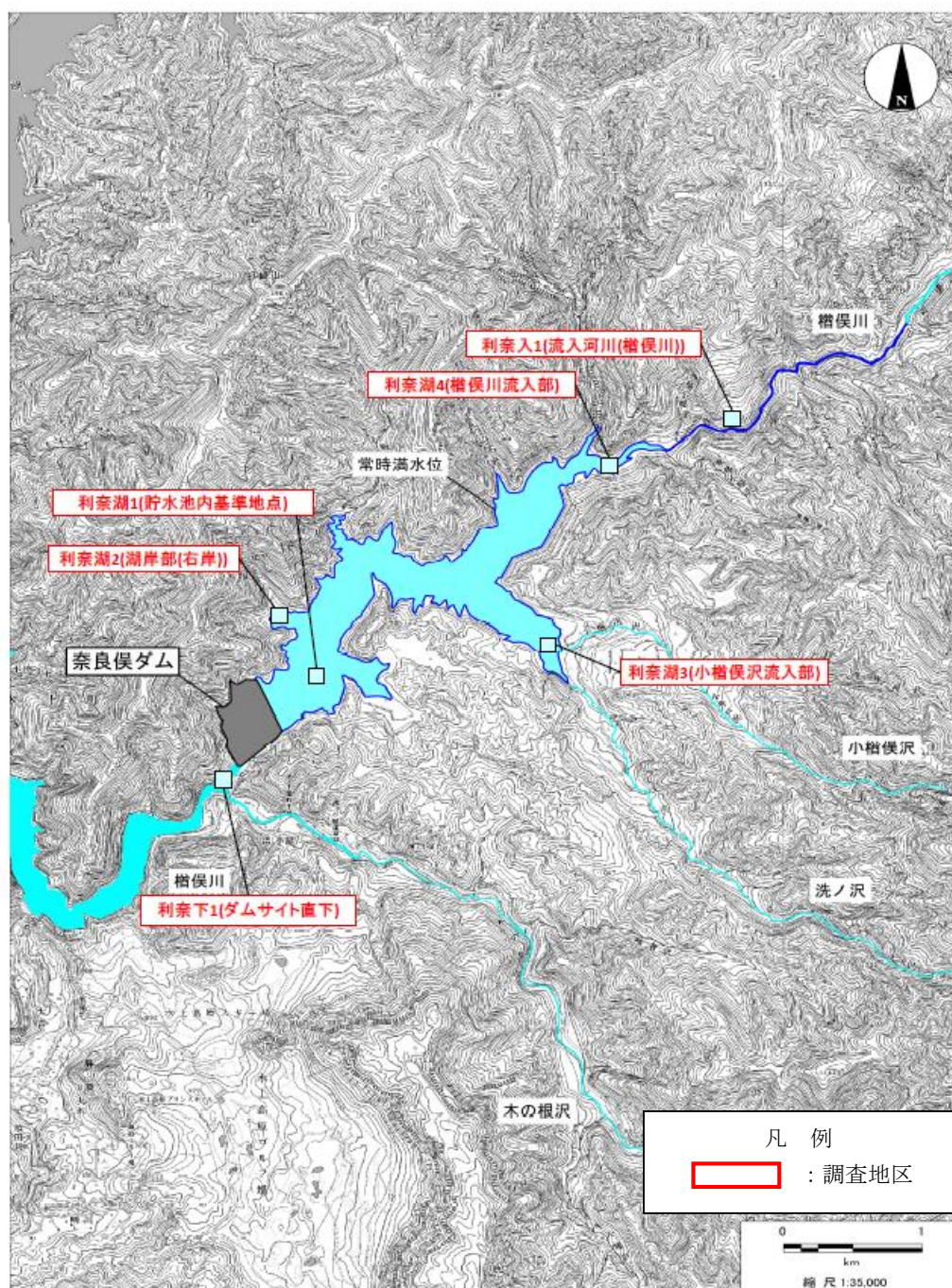
－ 以 上 －

別添図-1 (矢木沢ダム)



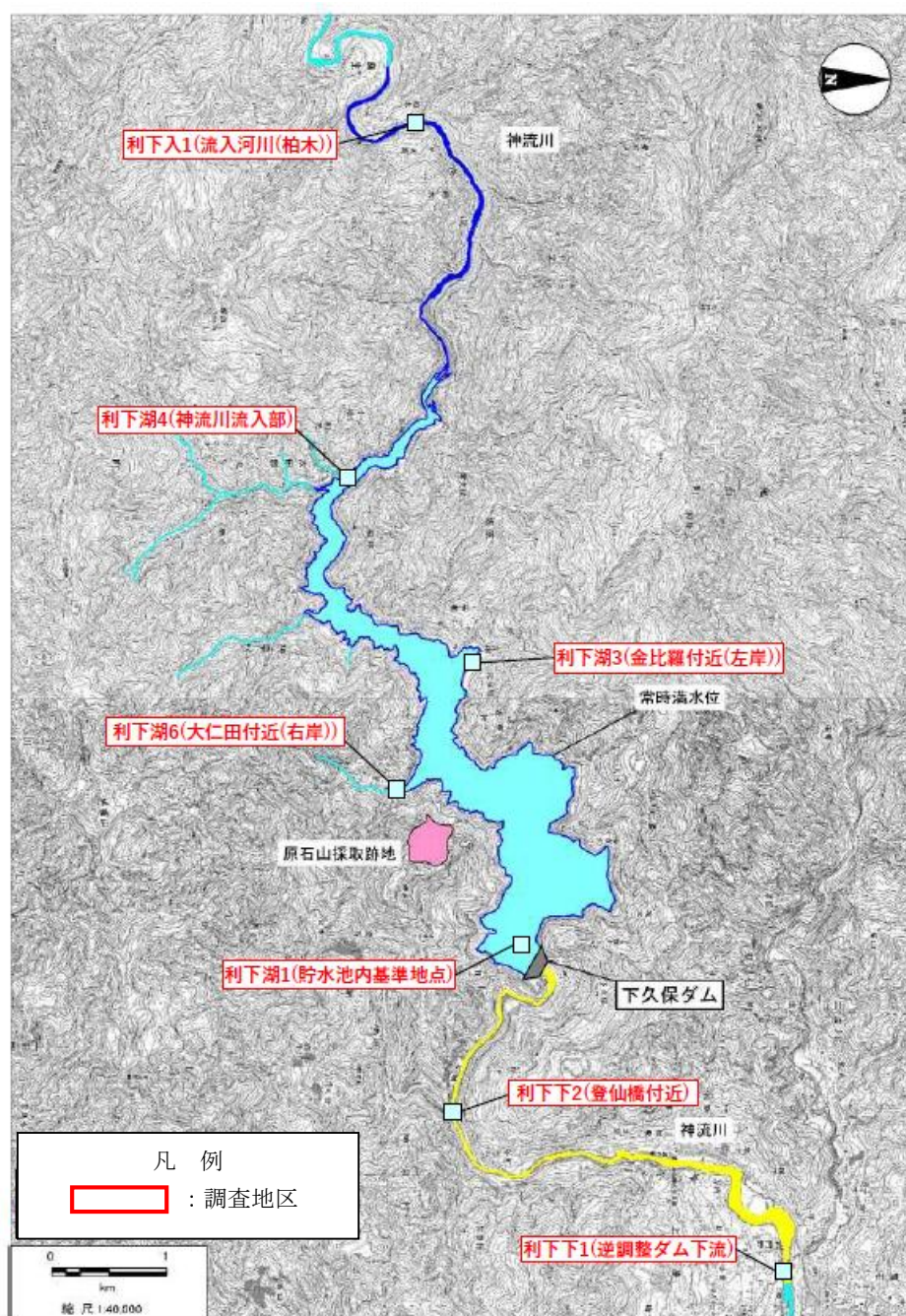
区分	調査地点	調査地区番号	調査地区名
ダム湖	貯水池内基準地点	利矢湖 2	貯水池内基準地点
	流入部	利矢湖 3	奈良沢流入部
		利矢湖 6	利根川本川流入部
	湖岸部	利矢湖 1	湖岸部
流入河川		利矢入 1	流入河川(奈良沢川)
		利矢入 2	流入河川(利根川本川)

別添図-2（奈良俣ダム）



区分	調査地点	調査地区番号	調査地区名
ダム湖	貯水池内基準地点	利奈湖 1	貯水池内基準地点
	流入部	利奈湖 3	小櫛俣沢流入部
		利奈湖 4	櫛俣川流入部
	湖岸部	利奈湖 2	湖岸部右岸
流入河川		利奈入 1	流入河川(櫛俣川)
下流河川		利奈下 1	ダムサイト直下

別添図-3（下久保ダム）



区分	調査地点	調査地区番号	調査地区名
ダム湖	貯水池内基準地点	利下湖 1	貯水池内基準地点
	湖岸部	利下湖 3	湖岸部左岸（金比羅付近）
		利下湖 4	神流川流入部
		利下湖 6	湖岸部右岸（大仁田付近）
流入河川		利下入 1	流入河川（柏木）
下流河川		利下下 1	逆調整ダム下流
		利下下 2	登仙橋付近